

10月の果実の見通し

品目	区分	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比見込(%)	5カ年平均	前年実績	前年比見込(%)	5カ年平均	前年入荷量(t)	前年占有率(%)	
みかん類		14,079	108	16,287	187	98	180	-	-	熊本、長崎、愛媛産中心の入荷となる。熊本は極早生品種「肥のあかり」が9月20日からの入荷で、干ばつの影響により小玉傾向である。長崎は「岩崎早生」が10月上旬から入荷で、小玉傾向である。全体の入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年並みの見込み。
りんご類		6,940	105	8,606	304	107	259	1,247	18.0	青森、山形産中心の入荷となる。品種はふじ、シナノスイート、秋陽など種々出揃う。各産地ともに一部着色遅れも見られるが、花芽は多く着果量は十分に確保できている。果実はやや小玉傾向となっている。全体の入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり上回る見込み。
りんご(ふじ)		214	105	1,429	325	105	300	133	62.1	青森、山形産中心の入荷となる。青森は弘前ふじの着果量は前年並みで、10月上旬から入荷となる。早生ふじは10月10日頃からとなる。山形は作柄良好で着果数も十分に確保できしており、昂林は10月1日から入荷となる。全体の入荷量は前年をやや上回り、価格も前年をやや上回る見込み。
かき類		9,032	110	9,171	263	92	249	152	1.7	和歌山、奈良、新潟、愛知産が中心となる。種なし柿は和歌山、奈良とも高温による着色遅れが見られるものの、着果、果実肥大は良好で、入荷量は前年を上回る。全体の入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。
ぶどう類		1,997	115	2,110	768	95	678	123	6.2	長野、岡山、山梨産が中心となる。品種は巨峰、ピオーネ、アレキサンドリアなど。長野は生育順調で、果実肥大も良好で大房傾向。山梨も生育順調で、果実肥大、糖度ともに良好。全体の入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をやや下回る見込み。
メロン類		950	97	1,089	437	104	432	73	7.7	茨城、北海道、静岡、山形産が中心となる。品種はアールスメロン、アンデスなど。茨城は生育順調で、ピークは例年よりやや遅れて9月下旬から10月上旬になる。全体の入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をやや上回る見込み。
西洋なし(ラ・フランス)		543	97	757	305	105	283	350	64.5	山形、長野産中心の入荷となる。山形は干ばつの影響によりやや小玉傾向である。入荷は10月末頃からとなる。長野は前年より2~3日早く、9月29日から入荷となった。ピークは10月1~2週となる。全体の入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をやや上回る見込み。